

ジェンダーギャップ解消に向けた企業横断型クロスメンタリングの実施

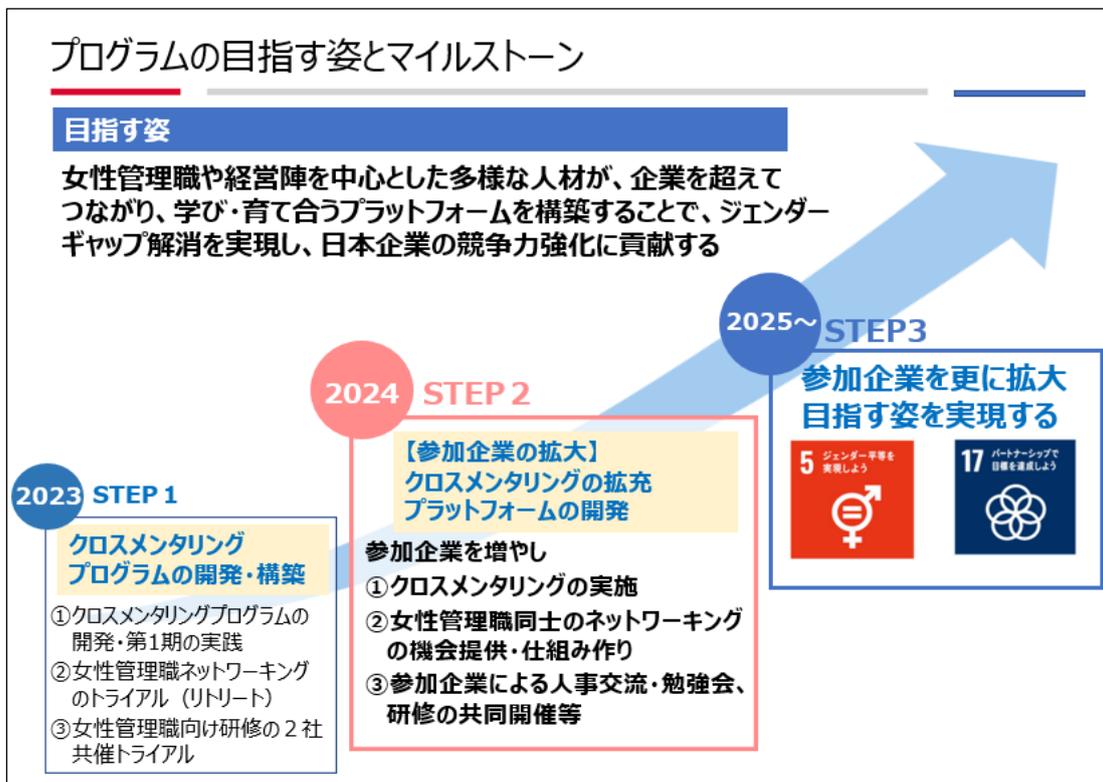
東京海上日動火災保険株式会社（取締役社長 城田 宏明、以下「当社」）は、2024年5月より、出光興産株式会社（代表取締役社長 木藤 俊一、以下「出光興産」）、帝人株式会社（代表取締役社長執行役員 内川 哲茂、以下「帝人」）および株式会社リコー（社長執行役員 大山 晃、以下「リコー」）とともに、各社のジェンダーギャップ解消の一層の推進に向けた企業横断型のクロスメンタリングを実施します。当社はダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進を成長戦略の柱と位置付け、中でも最優先課題としてジェンダーギャップの解消に取り組んでいます。本取り組みを通じて、自社だけでなく日本社会におけるジェンダーギャップの解消にも寄与し、日本企業の競争力強化に貢献してまいります。

1. 背景

当社は、「あらゆる意思決定の場に女性が当たり前に参加している状態」をめざして、ジェンダーギャップ解消に向けた各種取組みを推進しております。昨年度は、出光興産とともに、はじめて企業横断型のクロスメンタリングを実施しました。「クロスメンタリング」とは、メンター（支援者、助言者）とメンティ（支援・助言を受ける立場）が他企業同士となる組み合わせで行う、企業横断型のキャリア形成支援の取り組みです。

クロスメンタリングを通じて女性管理職や経営陣を中心とした多様な人材が、企業を超えて学ぶ、育て合うことはジェンダーギャップ解消を加速させるだけでなく、企業文化の変革や組織の活性化にも寄与するものと考えています。

そこで2024年度は、帝人、リコーの2社を加えた4社に拡大して実施することといたしました。



2. 2024年度企業横断型クロスメンタリング実施概要

- (1) 参加企業・参加者
 - 東京海上日動、出光興産、帝人、リコー
 - 各社メンター7名・メンティ7名、計56名（28組）
- (2) 目的
 - メンター：多様な人材を育成するために必要な気づきを得て、ジェンダーギャップ解消に寄与する。
メンティ：企業文化や経験などが異なる社外のメンターとの対話を通じて内省を深めるとともに、メンターから新たな視点を授かることで視野拡大・視座向上とともに、自律的なキャリア形成に繋げる。
 - クロスメンタリングの参画企業をベースに、業界を超えた女性管理職同士のネットワーキング（主体的な発信や学びの場）や人材育成の継承（後輩女性の育成）を担う、ジェンダーギャップ解消に向けたプラットフォームを構築する。
- (3) 実施期間
 - 2024年5月末～2024年11月（予定）
- (4) 実施内容
 - 集合研修3回、メンタリング3回
 - 女性管理職ネットワーキング（研修や交流会）



3. 今後について

日本政府が公表した「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2023」（女性版骨太の方針 2023）は、女性の活躍推進を日本の成長戦略の重要な柱と位置づけると共に、女性が社会のあらゆる場で活躍し、その能力を最大限に発揮できる環境の整備を目指しています。その中で、このような企業横断の取り組みの意義は非常に大きいと考えます。

当社は、今後も参加企業と協働でプログラムの拡充を図り、日本社会におけるジェンダーギャップ解消や日本企業の競争力強化へ貢献してまいります。

以上